



平成24年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月6日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東・大
コード番号 8127 URL <http://www.yamatointr.co.jp>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）盤若 智基
問合せ先責任者 （役職名）取締役経営企画室長 （氏名）高橋 俊輔 TEL 03-5493-5629
四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年8月期第3四半期の連結業績（平成23年9月1日～平成24年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第3四半期	18,032	5.1	1,116	△8.4	1,158	△6.2	545	△13.7
23年8月期第3四半期	17,158	—	1,218	—	1,234	—	632	—

（注）包括利益 24年8月期第3四半期 602百万円（△11.4％） 23年8月期第3四半期 679百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第3四半期	25.62	—
23年8月期第3四半期	29.69	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年8月期第3四半期	29,686	20,987	70.7	984.92
23年8月期	28,604	20,748	72.5	973.56

（参考）自己資本 24年8月期第3四半期 20,987百万円 23年8月期 20,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年8月期	—	9.00	—		
24年8月期（予想）				9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想（平成23年9月1日～平成24年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	5.5	1,400	5.8	1,450	6.1	750	8.1	35.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、(添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年8月期3Q	22,502,936株	23年8月期	22,502,936株
② 期末自己株式数	24年8月期3Q	1,194,388株	23年8月期	1,190,503株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年8月期3Q	21,311,926株	23年8月期3Q	21,312,996株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、(添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落込みから回復傾向にありましたが、欧州債務危機を発端にした世界経済の減速懸念とそれに伴う円高の長期化や株価の低迷により、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、不安定な景気情勢を背景に消費者マインドの本格的な回復には至らず、また天候不順の影響により秋冬物衣料及び春夏物衣料販売の立ち上がりが遅れる等、引き続き厳しい商況となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは、「時代に合った顧客が求めるカジュアルスタイルの提案」を基本方針として、「真の顧客起点」と「真の小売業化」を念頭に、既存ビジネスモデルの成長と店舗運営力の強化に注力してまいりました。また、「ローコスト経営」を意識し、収益性とキャッシュ・フローを重視し、業務及び物流システムの効率化や生産拠点の積極的な見直しを図る等、「高収益ビジネスモデルへの再挑戦」を推進してまいりました。

販売面では、「クロコダイルメンズ」「クロコダイルレディス」を統括する「クロコダイル事業部門」を新設し、本年で50周年を迎える最大の基幹ブランド「クロコダイル」の組織強化により、更なる事業拡大に注力しております。また、「真の小売業化」を目指す上でコミュニケーション力向上を図るためのプレスルームを新設し、「クロコダイル」をはじめ、その他の基幹ブランド「エーグル」「スイッチモーション」を中心とする既存ビジネス及び「ベージェジェ」等の育成ブランドの更なる事業強化も図ってまいりました。

この結果、当社の自主管理型売場は前期末より純増で69店舗増加し、855店舗となりました。

経費面では、自主管理型売場の新規出店に伴う販売費及び一般管理費は増加傾向にありますが、諸業務の効率化や生産拠点の東南アジアシフトによる生産コストの削減等を通じて、引き続き「ローコスト経営」に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は180億3千2百万円（前年同期比5.1%増）と増加いたしました。利益面では天候不順の影響で定価販売が減少し割引販売の増加を余儀なくされた結果、生産コストの上昇等を吸収できず、売上総利益率は50.0%と前年同期比で1.0ポイント低下し、営業利益は11億1千6百万円（前年同期比8.4%減）、経常利益は11億5千8百万円（前年同期比6.2%減）、四半期純利益は株価低迷による投資有価証券評価損の計上もあり5億4千5百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業178億6千3百万円（前年同期比5.3%増）、不動産賃貸事業1億6千9百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は151億4千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億9千5百万円増加いたしました。主な要因につきましては、たな卸資産が11億4千5百万円増加し、受取手形及び売掛金が6億7千3百万円増加し、有価証券が3億8千1百万円減少したことによるものであります。現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は90億1百万円から6億4千6百万円減少し83億5千4百万円となりました。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は145億4千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億1千3百万円減少いたしました。主な要因につきましては、有形固定資産が8千万円減少し、投資有価証券が1億5千2百万円増加し、差入保証金が1億7百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は74億4千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ13億5百万円増加いたしました。主な要因につきましては、支払手形及び買掛金が10億5百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が3億5千1百万円増加したことによるものであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は12億4千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億6千1百万円減少いたしました。主な要因につきましては、長期借入金が4億円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は209億8千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億3千8百万円増加いたしました。主な要因につきましては、利益剰余金が1億8千3百万円増加し、その他有価証券評価差額金が2千万円増加し、為替換算調整勘定が2千1百万円増加したことによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.5%から1.8ポイント低下し、70.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月期の連結業績予想につきましては、平成24年3月23日に公表いたしました内容に変更はございません。(なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第3四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

<追加情報>

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

・法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.9%から、平成24年9月1日に開始する連結会計年度から平成26年9月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.2%に、平成27年9月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.9%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は26,199千円減少し、法人税等調整額は21,766千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 8 月31日)	当第3 四半期連結会計期間 (平成24年 5 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,781,827	3,517,030
受取手形及び売掛金	2,111,912	2,785,698
有価証券	5,219,360	4,837,459
商品及び製品	2,280,972	3,409,156
仕掛品	62,934	64,236
原材料及び貯蔵品	30,490	46,794
繰延税金資産	192,844	221,303
その他	169,566	263,984
貸倒引当金	△218	△290
流動資産合計	13,849,691	15,145,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,748,054	2,657,059
機械装置及び運搬具（純額）	34,396	33,860
土地	7,931,184	7,931,184
リース資産（純額）	12,199	13,146
建設仮勘定	2,097	2,464
その他（純額）	71,067	80,938
有形固定資産合計	10,799,001	10,718,654
無形固定資産	143,765	140,139
投資その他の資産		
投資有価証券	1,799,030	1,951,471
差入保証金	1,465,752	1,358,132
繰延税金資産	336,354	274,881
その他	253,749	140,515
貸倒引当金	△42,537	△42,266
投資その他の資産合計	3,812,349	3,682,733
固定資産合計	14,755,115	14,541,527
資産合計	28,604,807	29,686,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 8 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年 5 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,057,055	5,062,662
1年内返済予定の長期借入金	591,320	942,860
未払法人税等	402,679	176,572
賞与引当金	117,809	—
返品調整引当金	32,000	40,000
ポイント引当金	101,232	103,331
その他	842,526	1,124,425
流動負債合計	6,144,623	7,449,851
固定負債		
長期借入金	800,030	400,000
退職給付引当金	517,776	507,958
資産除去債務	138,894	141,312
その他	254,501	200,509
固定負債合計	1,711,202	1,249,781
負債合計	7,855,825	8,699,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	5,644,906	5,644,906
利益剰余金	10,929,012	11,112,700
自己株式	△652,510	△653,974
株主資本合計	20,839,060	21,021,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,040	△38,825
繰延ヘッジ損益	△21,081	△6,257
為替換算調整勘定	△9,957	11,065
その他の包括利益累計額合計	△90,079	△34,016
純資産合計	20,748,981	20,987,268
負債純資産合計	28,604,807	29,686,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	17,158,384	18,032,806
売上原価	8,397,931	9,010,574
売上総利益	8,760,452	9,022,232
返品調整引当金戻入額	39,000	32,000
返品調整引当金繰入額	45,000	40,000
差引売上総利益	8,754,452	9,014,232
販売費及び一般管理費	7,535,484	7,898,068
営業利益	1,218,967	1,116,164
営業外収益		
受取利息	21,007	16,787
受取配当金	14,749	17,514
受取補償金	3,068	16,600
その他	18,063	18,438
営業外収益合計	56,890	69,341
営業外費用		
支払利息	20,510	18,823
賃借契約解約損	—	4,770
為替差損	18,469	2,325
その他	2,095	943
営業外費用合計	41,076	26,863
経常利益	1,234,781	1,158,642
特別利益		
投資有価証券売却益	11,613	—
貸倒引当金戻入額	379	—
固定資産売却益	29,751	—
特別利益合計	41,743	—
特別損失		
固定資産除却損	19,549	17,457
投資有価証券評価損	81	122,211
減損損失	28,460	8,114
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82,452	—
特別損失合計	130,544	147,783
税金等調整前四半期純利益	1,145,980	1,010,858
法人税、住民税及び事業税	591,661	464,425
法人税等調整額	△78,372	436
法人税等合計	513,288	464,862
少数株主損益調整前四半期純利益	632,691	545,996
少数株主利益	—	—
四半期純利益	632,691	545,996

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	632,691	545,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,965	20,215
繰延ヘッジ損益	33,831	14,824
為替換算調整勘定	△16,989	21,022
その他の包括利益合計	46,807	56,062
四半期包括利益	679,498	602,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	679,498	602,059
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 2
	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	16,967,308	191,076	17,158,384	—	17,158,384
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,967,308	191,076	17,158,384	—	17,158,384
セグメント利益	1,661,896	50,558	1,712,454	△493,486	1,218,967

(注) 1. セグメント利益の調整額△493,486千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 2
	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,863,142	169,664	18,032,806	—	18,032,806
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,863,142	169,664	18,032,806	—	18,032,806
セグメント利益	1,531,757	58,948	1,590,706	△474,541	1,116,164

(注) 1. セグメント利益の調整額△474,541千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。